

製造現場データベース化

技術伝承支援を来月開始

キャリア技研 07年問題に対応

【岐阜】キャリア技研(名古屋市中村区、富田茂社長、052-454-0495)は、新規ビジネスとして製造現場の技術・技能伝承を支援する事業を7月にスタートする。熟練者の技術・技能をデジタル情報として記録し、パソコン上で学習できるシステムを構築、提供する。07年問題の対応に悩む企業などに売り込み、3年後に年間売り上げ10億円規模の事業に育てる。

提供するシステムは熟練者の技術・技能をパソコン上で見える形にデータベース化する。熟練者の作業風景をデジタルビデオで撮影し、その画像を作業工程ごとに分割、整理してフローチャート式に表現する。

画像には作業上の注意事項や工夫ポイントなどのコメントを加え、手順に沿って効率的に学べる。手順を飛ばせないようにパスワード入力式にしたり、理解度を把握するためテストを行うことも可能という。

同事業の開始に合わせ専門組織「技術伝承コン

サルディング事業部」を新設。スタッフは新規採用した営業担当者10人を含め、15人体制とした。受注後約2週間でシステムのたたき台を作成、提案する。その後、顧客の要望を反映した形でシス

テムを仕上げる。価格は1システム500万~1000万円を予定。企業のほか「職業訓練校などの需要も見込める」(富田社長)としている。キャリア技研は01年設

3次元CADを用いた設計請負を主力としている。岐阜県が公募した「技術情報デジタル化モデル事業」を受託し、05年12月から4カ月間かけて溶接、金型分野などの8社を対象にデジタル情報による技術伝承のシステムの検証を行った。これが高評価を受けたことから、新規ビジネスとして取り組むことにした。

中小企業・中小政策